



東京教区災害対応チーム
災害情報・九州地震

九州
010

(表記の変更:「熊本地震」について、本紙面では九州教区での呼称にならない007号以降「九州地震」と記します)

【九州教区・九州地震被災者支援室から第六信プラス】

～ 10月16日は本震から6か月、「祈り」を一部改訂！ 主日礼拝で祈りましょう ～

九州教区・九州地震被災者支援室からの情報をお伝えします。

「だれが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことができますよう。

艱難か。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険か。剣か。」ロマ 8:35

九州教区・九州地震被災者支援室より第6信 プラス

支援活動～被災者を「孤立させない」ため～の取り組みについて

+主の平和 第6信発信後間もなくですが、当活動についての重要事項を連絡いたします。

●新・ボランティアセンターの所在は次のとおりです。

熊本聖三一ボランティアセンター 〒861-8035 熊本市東区御領一丁目10-71

※連絡先は熊本聖三一教会 TEL/FAX 096-384-3202

●支援活動体制変更一週4日制へ

来月11月より、これまでの日曜日、月曜日に加えて火曜日も「活動休止日」とします。すなわち、活動日を毎週水曜日から土曜日までの4日間に限定し、集中しての支援活動を行っていきます。従って、ボランティアセンターへ宿泊できるのは、原則火曜日の夕から土曜日までとなります。新体制のもと、ボランティアにぜひご参加ください。

●10月16日は本震発生から6か月。祈りの一部を改訂しました。

10月16日で4月16日の本震発生日からちょうど6か月。そして主日と重なります。ぜひ礼拝の中で6か月を過ごしてきた被災者のこと、支援活動のためにお祈りください。

尚、「九州地震被災者のため」の祈りのごく一部（下線を付した言葉）を改訂します。

九州地震被災者のため

命と愛の源である神よ、地震により世を去った人びとの魂が、あなたのもとで安らかに憩うことができますように祈ります。

一瞬にして、大切な家族や友人、また家や財産をなくし、茫然と立ち尽くす人びとがいます。今なお余震が続き、避難所、仮設住宅、コンテナハウスなどで、過酷な日々を過ごす人びとがいます。どうか主が、共にいてくださいますように。

強い揺れにより、子どもたちまた大人たちが心に傷を負い、不安の中に置かれています。

どうか主が、癒しと希望をお与えくださいますように。

何ものもわたしたちをキリストの愛から引き離すことはできません。この苦難の時も、主の模範に従って、誰も孤立させないために、互いに祈り支えあうことができますように。

すべての九州地震被災者支援の働きを祝し用いてください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

ご協力よろしくお願いたします。

2016年10月13日

九州教区主教 ルカ 武藤 謙一

九州教区・九州地震被災者支援室 室長 司祭 マルコ 柴本 孝夫